

年 表

西 暦	年 次	主 要 事 項
1685	貞亨 2	宗谷場所開設（寛政元年(1789)松前藩家老より幕府への報告書「蝦夷地一件」により推定される。）
1706	宝永 3	村山伝兵衛宗谷場所を請負う。（能登国村山家の記録による）
1781	天明 元	宗谷に巖島神社建立（現存）
1785	〃 5	樺太探検調査隊長庵原弥六一行宗谷で越年、翌春病死（墓碑現存）
1801	亨和 元	奉行松平忠明宗谷を巡視する。宗谷に台場を築く。
1806	文化 3	遠山金四郎、村垣左太夫樺太を巡視して宗谷に滞在
1807	文化 4	幕史田草川伝次郎、近藤重蔵等宗谷を巡視する。 宗谷に始めて馬来る。
1808	文化 5	松田伝十郎、間宮林蔵樺太探検のため宗谷を出帆
1856	安政 3	松浦武四郎樺太調査のため宗谷を出帆
1859	安政 6	宗谷秋田藩の管下になる。
1869	明治 2	宗谷開拓使に属す。
1870	明治 3	宗谷金沢藩に属す。
1872	明治 5	宗谷支庁設置、開拓判官大山重主任となる。
1873	明治 6	宗谷支庁を廃し、留萌支庁の管轄になる。
1875	明治 8	留萌支庁を廃し、札幌本庁に合し、宗谷に開拓使出張所を置く。 露国と樺太、千島交換条約締結、このため樺太原住民 841 名稚内に移す。
1876	明治 9	宗谷郵便局を設置
1879	明治 12	宗谷に郡役所が置かれる。宗谷警察署を置く。 宗谷村戸長役場設置、開村（開基記念日）
1885	明治 18	宗谷村尻臼に灯台設置、日本郵船会社小樽・稚内間に定期航路を開く。
1886	明治 19	廃県置庁により道庁が置かれ、その管轄となる。
1888	明治 21	宗谷郵便局稚内に移転、稚内郵便局と改称
1889	明治 22	私立北見学舎設立/11月に公立稚内簡易小学校開設
1890	明治 23	声問川渡守声問において寺小屋教育を始める。
1892	明治 25	公立稚内簡易小学校声問、宗谷、尻臼に分校を置く。
1896	明治 29	稚内区裁判所設置
1897	明治 30	宗谷税務署を稚内に設置 郡役所を改め宗谷支庁を開設
1899	明治 32	稚内小学校抜海分校設置 宗谷税関監視署を稚内に設置
1900	明治 33	稚内、宗谷村より分村し1級町村制を施行 9月24日箇所台帳長泉田政成就任/稚内灯台設置
1906	明治 39	小樽、稚内、樺太定期航路開設
1908	明治 41	宗谷線建設建議案両院通過 稚内町に宗谷営林区分署を設置
1910	明治 43	北海道水産試験場駐在所設置
1911	明治 44	山火延焼し、稚内町 724 戸、宗谷村 71 戸、その他諸官衙、学校、病院等灰燼にきす。

西 曆	年 次	主 要 事 項
1913	大正 2	秋田木材会社、声問発電所を設置（管内電灯の始め） 夕来特別教授場設置
1920	大正 9	第 43 議会の協賛を得、国費 6,304,900 余円で稚内築港工事着手
1921	大正 10	声問石油鉱場設立
1922	大正 11	宗谷線開通（天北線）/曲淵小学校創立 沼川の地名誕生
1923	大正 12	庁立稚内中学校（稚高）創立/稚内町立実科高等女学校創立 稚泊連絡船運航開始/稚小トベンナイ文教場新設（北小前身）
1924	大正 13	北見線開通（現宗谷線）/稚斗連絡船運航開始
1926	大正 15	稚泊連絡船対馬丸ノシャップ沖で座礁
1928	昭和 3	稚内町大火/稚内港駅開駅（現稚内駅） 上修徳特別教授場開設
1930	昭和 5	普通選挙第 1 回町村会議員選挙/稚内町大火
1936	昭和 11	稚内築港工事第 1 期設置完成
1937	昭和 12	稚内測候所を設置
1938	昭和 13	鉄道船入澗完成
1940	昭和 15	豪州より緬羊 50 頭輸入/都市計画区域決定
1942	昭和 17	北海道配電会社声問火力発電所設置/漁業無線局設置
1945	昭和 20	樺太居留民引揚船稚内に入港上陸/米軍稚内に進駐
1947	昭和 22	町村長公選（西岡 斌当選）/稚内町会議員選挙 NHK稚内放送局放送開始
1948	昭和 23	稚内港国際開港場に指定
1949	昭和 24	稚内市制施行/海上保安署、消防署設置
1950	昭和 25	天興地区の一部、豊富村より稚内市に編入 第 2 期上水道拡張工事に着手
1952	昭和 27	上水道通水式、都市計画事業第 1 期区画調整施行 北洋漁業再開、稚内より 18 隻参加
1955	昭和 30	宗谷村稚内市に合併/稚内市長、市議会議員選挙（西岡市長 3 選）
1956	昭和 31	西カム天洋丸船団出航/稚内市地財再建団体に指定 稚内空港建設工事着手
1957	昭和 32	高松宮両殿下御来稚/稚内測候所气象台に昇格
1958	昭和 33	産業会館、簡易裁判所庁舎落成 市制施行 10 周年、開基 80 周年記念式典挙行/駐留軍水道竣工
1959	昭和 34	市立病院落成/岩田直蔵氏市葬/稚内空港開港 稚内市長、市議会議員選挙（浜森辰雄当選） 稚内中央埠頭起工/曲淵稚内炭鉱閉山を宣言
1960	昭和 35	南極観測樺太犬記念碑建立/西岡斌氏名誉市民に推戴 声問沖灯標設置
1962	昭和 37	上水道第 3 次拡張工事起工並びに調印式/NHKテレビ開局
1963	昭和 38	宗谷診療所落成/幕別の地名恵北と改称/青年の家落成 樺太慰霊塔（氷雪の門）、九人の乙女の像建立
1964	昭和 39	中央埠頭使用開始/北海道漁業研究所落成/三井沢宗谷炭鉱閉山 名誉市民西岡斌氏市葬

西 曆	年 次	主 要 事 項
1965	昭和 40	稚内市都市改造5ヶ年計画を策定/樺太墓参団稚内港を出港 民放TV (HBC・STV) 開局/稚内新駅舎完成 市立白樺児童館落成/上水道第3次拡張工事完成
1966	昭和 41	稚内灯台移設完成
1967	昭和 42	老人ホーム富士見園落成/渋谷長吉氏名誉市民に推戴/市庁舎落成 中央小学校開校
1968	昭和 43	稚内市民憲章・市旗制定/三笠宮妃殿下御来稚 ノシャップ寒流水族館開館/開基90周年、市制施行20周年記念式典挙行 昭和天皇・皇后両陛下ご来稚
1969	昭和 44	北洋埠頭建設工事起工 昭和天皇・皇后両陛下ご来稚記念歌碑建立
1970	昭和 45	稚内市街地住居表示制度実施/恵山泊漁港竣工
1971	昭和 46	巡視船さろべつ就航/北洋埠頭造成工事着手 消防庁舎港5に新築移転/大岬に酪農あけぼの像建立 ノシャップ米軍基地閉鎖発表
1972	昭和 47	札幌冬期五輪大会聖火リレー回送/港小学校開校 ネベリスク市と友好都市締結 稚内職業訓練校、高等訓練校に昇格 鉄道稚内開通50周年記念祝賀
1973	昭和 48	比国バギオ市と姉妹都市締結 稚内空港定期便就航
1974	昭和 49	北洋材積載ソ連船入港、貿易実現 地方卸売市場、北洋埠頭に落成 稚内公園に「こどものくに」完成/青少年科学館完成 利尻礼文サロベツ国定自然公園、国立となる。
1975	昭和 50	第1回冬まつり氷雪の広場開催 総合福祉センター完成/稚内公園ロープウェイ完成 郷土資料館設置 稚内大規模草地入牧記念祝賀会開催 浜森市長中国親善訪問 稚内・南稚内駅間鉄道高架工事完成
1976	昭和 51	上水道第5次拡張工事建設に着手/潮見が丘小学校開校 富岡幼稚園開園/UHB・HTBテレビ開局 ソ連200カイリ漁業専管水域設定宣言 電子計算処理始動
1977	昭和 52	北方漁業危機突破市民大会/巡視船ほろべつ就航 近布に温泉ボーリング開始/北辰ダム導水トンネル工事に着手 沼川スポーツセンター完成/稚内海員会館完成 日本政府200カイリ宣言
1978	昭和 53	レストハウス、チェアリフト、にしん資料館完成 日ソ友好親善道北市民の船使節団訪ソ 開基100周年、市制施行30周年、開港30周年記念式典挙行 開基100周年記念塔、北方記念館、北方植物園完成 上水道第5次拡張工事北辰ダム定礎式 下水道事業終末処理場建設に着手 市民温泉保養センター、母子福祉会館完成

西 暦	年 次	主 要 事 項
1978	昭和 53	稚内沖海底石油ボーリング開始 元南極観測船「宗谷」サヨナラ航海 開基 100 年記念のシンボルマーク、標語、木、花制定 国の特定不況地域に指定
1979	昭和 54	稚内空港整備促進連絡協議会発足 ソ連輸入スケソ第 1 船入港 宗谷沖 1 号井試掘調査船第 5 白竜丸入港 船員保険保養所「宗谷パレス」完成
1980	昭和 55	社会教育センター、日ソ友好会館完成 稚内水産食品製造センター完成 生誕 200 年を記念し、探検家間宮林蔵の立像建立 東洋一を誇る稚内港北防波堤ドーム全面改築工事完成 樺岡地区国営草地開発事業（大規模草地）完成
1981	昭和 56	少年自然の家、総合体育館完成 稚内総合文化センター着工 漁村センター、新食製品研究センター完成 スポーツ都市宣言制定
1982	昭和 57	上水道第 5 次拡張工事、北辰ダム完成及び給水開始 稚内はまなす学園完成 増幌小・中学校と恵北小学校が統合され新設校増幌小・中学校となる。 宗谷岬展望台、富岡児童センター完成 アンカレジ市と姉妹港湾提携 市立稚内病院の増改築工事着手 主要道々稚内天塩線開通 税務情報オンラインシステム稼働
1983	昭和 58	稚内聖苑、北光園完成 潮見が丘中学校開校 アンカレジ市からアラスカ産トナカイ寄贈 下勇知小学校 75 周年及び新築落成記念式典開催 樺岡小学校 60 周年及び落成記念式典開催 公共下水道終末処理場通水式 稚内警察署新庁舎完成 曲淵コミュニティセンター完成 大韓航空機墜落事件発生、稚内市大韓航空機遭難対策本部設置
1984	昭和 59	公共下水道一部供用開始 総合勤労者会館、エネルギーセンター完成 稚内総合文化センター完成、落成記念行事に市民“第九”を歌う。 宗谷 300 年祭を祝う。 稚内空港ジェット化工事着工 サハリン州姉妹友好都市代表団来稚 住民情報オンラインシステム稼働 宗谷丘陵起工式 市立稚内病院改築完成
1985	昭和 60	夕来小中学校廃校 沖合底引船第 71 日東丸がサハリン東海域で遭難（乗組員 3 名奇跡の生還） 大韓航空機事故の祈念碑「祈りの塔」完成

西 曆	年 次	主 要 事 項
1985	昭和 60	第1回日本最北端平和マラソン大会開催 市立稚内病院落成記念式典挙行 稚内北星学園短期大学建設工事着工 名誉市民渋谷長吉氏市葬
1986	昭和 61	将棋女流名人位を獲得した中井広恵さんに市民栄誉賞（第1号） 「緑と太陽の村」完成 浩宮殿下ご来稚 沖縄県石垣市長ら一行来稚 民放ラジオ（HBC、STV）開局
1987	昭和 62	稚内北星学園短期大学開学 瀬戸常蔵氏名誉市民に推戴 名誉市民瀬戸常蔵氏市葬 稚内空港がジェット化、稚内ー東京、稚内ー千歳間にジェット機就航 稚内北星学園短期大学、アメリカのイースタンメノナイト大学と姉妹校の提携 沖縄県石垣市と友好都市を提携 「しおさいプロムナード」完成
1988	昭和 63	「世界平和の鐘」（国内第1号、世界で2番目）、「子育て平和の鐘」が宗谷岬平和公園に設置 開基110周年、市制施行40周年、開港40周年記念式典挙行 「動物ふれあいランド」が空港公園に完成 高橋善之助氏、名誉市民に推戴
1989	平成 元	天北線廃止に伴い、代替輸送バス運航開始 ‘89サハリンツアー’が運航（全9便）され、第1便で稚内市経済文化交流促進訪問団がサハリンを訪問 「そうや竜ふるさと歴史館」完成 天皇・皇后両陛下ご来稚 ツール・ド・北海道開催
1990	平成 2	稚内と韓国を結ぶ初の国際チャーター航空便就航 石垣市から「石垣市明石小学校の交流団」、「石垣市少年友好親善の翼」来市 稚内港に第2次サハリン残留邦人一時帰国団入港 印鑑証明オンラインシステム稼働
1991	平成 3	大地震があった姉妹都市バギオ市（フィリピン）に市の代表団が義援金を届ける。 宗谷丘陵展望休憩施設「ゲストハウスアルメリア」完成 緑体育館完成 市長・市議会議員選挙、敦賀一夫市長初当選 名誉市民高橋善之助氏市葬 サハリン州コルサコフ市（旧大泊）と友好都市提携 少年少女スポーツ選手がサハリン州を訪問し、日ソ親善スポーツ交流 稚内北星学園短期大学、サハリン州ユジノサハリンスク教育大学と姉妹校の提携 前市長浜森辰雄氏、名誉市民に推戴 「大学生海外交流事業」による初のチャーター航空直行便で稚内北星学園短期大学一行がサハリン州各地で交流 敦賀市長一行が石垣市を訪問 富磯小学校の児童14人が姉妹校の石垣市明石小学校を訪問 半嶺石垣市長を団長とする石垣市交流団一行22人が稚内市を訪問

西 暦	年 次	主 要 事 項
1992	平成 4	<p>映画「南極物語」で主役の樺太犬を演じ、一躍有名になったスター犬のタロが死亡 声問川大曲遺跡の発掘調査開始 伊藤多喜雄氏が来稚し、ライブコンサート開催 新造カー・フェリー「クイーン宗谷」就航 「緑・富岡環状線」全線開通 サハリン州と北海道の14自治体の代表者が集まり「サハリンサミット」開催 上声問小学校改築完成 市立稚内病院に脳神経外科開設、MR I (核磁気共鳴映像装置)の導入 声問大沼地区に道立公園の設置が決定、平成5年度から7カ年かけて整備 こまどりスキー場と曲淵スキー場に新しいロッジ完成 ノシャップカーリング場全面改修 名誉市民浜森辰雄氏が「勲三等旭日中綬章」受章</p>
1993	平成 5	<p>4極交流サミット・4極交流こどもサミット開催 テレビ広報・稚内市民ニュース開始 友好交流市民の翼の一行が沖縄県石垣市訪問 デイサービスセンター潮見園・在宅介護支援センター完成 「毛利さん、宇宙から帰る展」開催 稚内高校に看護専攻科開設 第44回北海道植樹祭開催 稚内シーポートプラザ上棟式挙 育みの里工事着工</p>
1994	平成 6	<p>スパイクタイヤの使用規制地域に指定 稚内全日空ホテル完成 温水プール水夢館、大沼球場完成 サハリン定期航路のトライアル運航実施 利尻・礼文・サロベツ国立公園が指定20周年 総合在宅ケアセンター開所 北コミュニティーセンター完成 市民情報サービス「テレホンガイド」稼働 大沼野鳥観察館完成 大型はしご付消防自動車(38m級)購入</p>
1995	平成 7	<p>市長・市議会議員選挙、敦賀一夫市長再選 サハリン定期航路(稚内港-コルサコフ(旧大泊)間)就航 ポートサービスセンター完成 稚内・大阪(関西国際空港)間直行便就航 全国高等学校野球選手権大会北海道大会開催 こまどり5丁目、栄5丁目住居表示 北方記念館入館者100万人達成 赤十字北海道大会にご臨席のため、日本赤十字社名誉副総裁常陸宮妃殿下ご来稚 稚内地方合同庁舎完成</p>
1996	平成 8	<p>港ふれあいセンター完成 総合福祉システム稼働 外国船入港一万隻達成 コミュニティ放送局「エフエムわっかない」開局 稚内港国際旅客ターミナル完成 4極交流「首長・子どもサミット」開催</p>

西 暦	年 次	主 要 事 項
1996	平成 8	<p>砕氷艦「しらせ」入港 特別養護老人ホーム富士見園、白樺保育所改築完成 「稚内市民の翼」で107人が石垣市を訪問 「石垣市民の翼」で52人が来稚 上勇知診療所改築完成 こまどり5丁目で土砂崩れ発生・4世帯が避難 高規格救急車購入</p>
1997	平成 9	<p>宗谷、沼川支所で住民票他発行を本庁とオンライン化 健康増進センター（稚内温泉「童夢」）が新築完成 戸籍事務コンピュータ化 将棋「第38期王位戦7番勝負第1局」開催 第52回回天皇賜杯全日本軟式野球北海道大会開催 ネベリス市友好都市提携25周年記念レセプション開催 インターネットでホームページ開設 こまどり3丁目で土砂崩れが発生、5戸が避難 保健福祉センター完成 東京直行便通年運航開始</p>
1998	平成 10	<p>帆船「日本丸」入港 沼川みのり公園、道立宗谷ふれあい公園開園 中央小学校新校舎完成 「タロ・ジロ里帰り展」開催 開基120年・市制施行50年・開港50年記念式典挙行 新消防合同庁舎完成 市庁舎事務室のオープン化とローカウンター化 「こどものくに」閉園 風力発電施設稼働</p>
1999	平成 11	<p>第3次稚内市総合計画実施計画スタート リサイクルセンター完成 市長・市議会議員選挙、横田耕一市長初当選 サハリン定期航路再開、記念訪問団がサハリン訪問 上声間小学校休校 南地区在宅介護支援センター設置（老人保健施設ら・ぷらーさ内） 市立稚内病院精神神経科デイケア棟完成</p>
2000	平成 12	<p>サハリン定期航路、30便運行決定 新型特急「スーパー宗谷」運行開始 市庁舎1階フロア「総合窓口化」に向け改築 介護保険制度スタート 稚内北星学園大学（4年制）開学 道立宗谷ふれあい公園全面供用開始 開港52年で外日貿易船入港2万5千隻を達成 サハリン州考古学者ら15名、丸木舟で宗谷海峡横断 12年ぶりに30.4度の真夏日を記録 食と自然をテーマにした「宗谷岬えこ・びれっじ」オープン シドニー五輪が開催され、柔道・女子マラソン等で日本選手大活躍 冬季観光イベント「稚内サハリン館」オープン 稚内温泉「童夢」の入館者が百万人突破</p>

西 暦	年 次	主 要 事 項
2000	平成 12	富士見地区の石油天然ガス基礎試錐「チカップ」本格的な掘削開始 N T T東日本稚内営業所の営業窓口及び販売業務終了
2001	平成 13	情報公開条例及び個人情報保護条例の施行 家電リサイクル法施行 狂牛病感染乳牛を確認 ユジノサハリンスク市と友好都市提携 ロシア・アンサンブル「カリーナ」による議場コンサート開催 米国中枢同時テロ事件発生 コルサコフ友好都市提携 10 周年記念式典挙行 スポーツ都市宣言 20 周年記念「スポーツの科学」開催 宗谷中学校落成記念式典挙行 吉田政一氏、名誉市民に推戴 名誉市民吉田政一氏死去に伴う追悼の会執行 道議会議員補欠選挙、岡谷繁勝氏初当選
2002	平成 14	ソルトレークシティ冬季五輪が開催され、渡辺ゆかり選手が活躍 外規法(外国人漁業の規制に関する法律)が厳格適用され、地域経済に打撃 天北地区の小中学校を統合し、天北小中学校開設 ユジノサハリンスク市に稚内事務所開設 中央地区で大型火災が発生、被害総額 16 億円強 ネベリスク市と友好都市提携 30 周年記念事業を開催 住民基本台帳ネットワークが稼動 稚内温泉「童夢」でレジオネラ菌検出 女優吉永小百合さん「平和の詩」朗読会開催 石垣市と友好都市提携 15 周年記念事業開催 都市再生指定都市に稚内市が選定
2003	平成 15	石垣市との友好都市提携 15 周年を記念し市民交流団が石垣市を訪問 国立療養所の廃止を受け「市立稚内こまどり病院」が誕生する。 統一地方選挙が行われ、道議会議員選挙(稚内市部)は吉田正人氏が初当選 市長選挙は横田耕一市長が 2 回目の当選 市議会議員選挙は 10 人の新人議員を含む 24 人が当選 国際交流特区が認定される。稚内港の機能強化に弾み。 新しい市立図書館がオープン 大韓航空機墜落事件から 20 年目を迎える。 大岬周辺地区が宗谷岬に住居表示変更 宗谷北部任意合併協議会が発足
2004	平成 16	利尻礼文サロベツ国立公園指定 30 年を迎える。 稚内・名古屋航空機路線が開設 幼保一元化特区が認定される。 改正ソーラス条約が発効され、稚内港の警備を強化 近隣町村との合併問題は合意に至らず。 トレードフェア in サハリンが開催され、大盛況に終わる。 稚内温泉「童夢」の入場者が 200 万人を突破 南中ソーラン全国交流大会が開催される。 全国風サミットが開催される。 宗谷丘陵の周氷河地形が北海道遺産に認定される。 市職員近江幸秀さんが第 46 次南極地域観測隊員に選出される。

西 暦	年 次	主 要 事 項
2005	平成 17	<p>恵北の旧幕別分庁舎にて NHK ドラマ「望郷」ロケが行われる。 幼保一元化特区の第1号、富岡幼稚園（保育園）がスタート ノシャップパークゴルフ場オープン 西稚内地区の地名を西浜（1～4丁目）に変更 サハリンから稚内への直行チャーター機が初飛行 軟式野球（Cクラス）の日本一を決める高松宮賜杯野球大会が大沼球場で開催 特別養護老人ホーム稚内緑風苑オープン 南極観測隊派遣の近江幸秀隊員、昭和基地から母校声問小児童と交信 国内最大規模の風力発電（57基）「宗谷岬ウィンドファーム」が稼働開始 市費負担教職員の任用を認める「てっぺん教育力特区」が認定される。 市営宝来団地の完成、宝来地区活動拠点センターがオープン</p>
2006	平成 18	<p>稚内公園に風力発電を利用した燃料電池システムが設置される。 トリノ冬季五輪に稚内出身渡辺ゆかり選手が出場（15位） 地域の安全を守るスクールガード組織が拡充 稚内公園スキー場、ロープウェイが廃止される。 シーニックバイウェイに宗谷がルート指定を受ける。 夜行特急列車「利尻」の季節運行化実施 南極観測 50周年を迎え、南極踊りの再現と畠山みどりさんの来稚 ユジノサハリンスク市友好都市提携 5周年記念式典のため文化交流団訪サ 稚内港北防波堤ドーム竣工 70周年を迎え、記念イベントが開催される。 道州制をテーマにタウンミーティングが開催される。（竹中総務大臣来稚） 市内声問に大規模太陽光発電実証研究施設稚内サイトの建設が決定 千島沖地震の津波警報発令により 799名が避難 プロ野球日本一の日本ハムファイターズ選手が来稚し市民と交流 地域経済の拠点として宗谷経済センターが新築オープン</p>
2007	平成 19	<p>東地区活動拠点センターがオープン 抜海小中学校が閉校される 市分庁舎が廃止される 稚内市自治基本条例が施行される。 稚内副港市場がオープン 市が係制からグループ制に変更、また電話が直通方式に変更される。 第16回地方統一選挙が行われ、道議会議員選挙は吉田正人氏が2回目の当選 市長選は横田耕一市長が3回目の当選 地球温暖化を考え、市でノーマイカーデーを実施 市民が一日議員になる「市民議会」が開かれる。 石垣市と友好都市提携 20周年として、市民による相互交流が行われる。 南極観測船「しらせ」が稚内入港。 「食の委員会」が設立される。 新廃棄物処分場が供用を開始 フランス駆逐艦「ヴァンデミエール号」が稚内入港。 ラ・ペールズ顕彰記念碑が建立される。</p>
2008	平成 20	<p>国際・国内フェリーターミナルが完成 メモリアル事業（稚内市制施行 60年・稚内港開港 60年・会津藩北方警備 200周年記念事業、ふるさと訪問事業）が行われる。 金属ゴミ・容器包装プラスチック・白色トレイの分別が開始 第46回北海道障害者スポーツ大会が開催される。 藤田征樹選手が北京パラリンピックに出場し、3つのメダルを獲得 藤田征樹選手に市民栄誉賞を授与</p>

2008 2009	平成 20 平成 21	<p>第4次稚内市総合計画を策定 クリーンアップわからない運動開始 (株)稚内水産公社が解散 家庭系ごみ有料化開始 ミハイル・ベールイ ロシア駐日大使が市長表敬訪問 クリストファー・ウッド オーストラリア領事が市長表敬訪問 稚内市メモリアル事業(間宮海峡発見200年記念事業、南中ソーラン全国交流祭 in 稚内、プロ野球イースタンリーグ公式戦、プロバスケットボール公式戦)が行われる。 南極観測船旧しらせのスクリー展示 稚内駅周辺地区市街地再開発事業として再開発ビルの第1期工事が開始 名誉市民浜森辰雄氏市葬 第33回北海道都市問題会議が開催される。</p>
2010	平成 22	<p>稚内空港 2,200m 滑走路供用開始 (株)稚内シーポートプラザの解散、定住自立圏構想の「中心市宣言」を行う 「地域学」として「稚内学」が完成 稚内市観光振興計画の策定 開業医誘致助成条例による助成第1号診療所が開業 バイオエネルギーセンター(生ごみ中間処理施設)の整備開始 稚内駅周辺地区市街地再開発事業の第1期工事が完成し、駅前再開発ビル内に映画館がオープン 稚内市スポーツ合宿誘致推進協議会の設立 稚内市職員として2人目となる第52次南極観測隊員に市川正和さんが決定し南極へ出発 稚内市メモリアル事業(稚内みなと南極まつり50回記念事業、稚内市日ロ友好会館30周年記念事業、南極探検100周年記念事業)を盛大に開催 4代目砕氷艦「しらせ」が訓練を兼ねた特別航海のため稚内港に寄港 日本学士院賞と恩賜賞を受賞した本市出身の法政大学名誉教授の表彰章氏へ3人目の市民栄誉賞を授与 まちづくり委員会設立10周年記念「まちづくりフォーラム」の開催</p>